

秘

昭62.10.8 (11:30)

祐天寺

から業務第一課長あて電話

人

又、[redacted] 代から祐天寺 ([redacted]) への電話の要旨

(1) 6日、[redacted] を助けるために 韓国関

係者に説得に行きたいが、旅費を出して

もらえるか。

祐天寺はどのように考えているか

(2) 7日(木)朝

韓国訪問の往復の旅費を出してもらい

たい。

このことを経理に話してもらいたい。

(祐天寺の考え)

○ (1) ■■■代の申し出は、先ず旅費の話であるが

これはさらに工作費等についての要求がなさ

れることは、目に見えていることであり、ずるずる

と多額の金銭の要求がなされることになる

のではないかと思える。

○ (2) 祐天寺としては、高度の宗教的見地から

曹溪宗高麗寺の■■■に寄附をすると

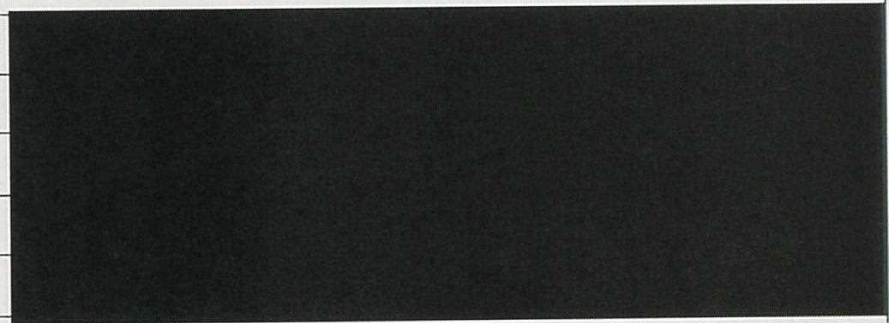
いうことなら応ずることはできるが、■■■代に

金銭を出すということは、今後、広告的(著名

的)に、政治的に利用される可能性が十分

ある。

③) 従って、代が窓口となって金銭的要求
を行う限り、祐天寺はこれに応ずることは
できない。



④) 大阪訪問

①) 12日、午後1時 との面談の
約束がとれた。

同日、東京発 9時30分の「ひかり321号」
をセツトした。

5
(2) 四天王寺は、同日、16時にセッ卜済。

比叡山延暦寺については目下問合せ中
である。